

# 道を決める

---

与沢翼 2017年最新版

第3話 実践のためのオリエンテーション

# 第2話の要約

---

- 1、出来高(流動性)が多く、取引時間が長く、値動きが活発で、イベントの多い為替は、値動きのみからリターンを求めようとする短期投資においては、最適な選択肢となる。
- 2、配当、値上がり利益において、時の経過とともに最も大きなリターンをもたらす株式投資は、長期投資としては、最適な選択肢となる。
- 3、富裕層、超富裕層を目指すためには、どんな職種であれ高額所得者になるか、あるいは、投資をスタートするべきである。

第3話では、短期投資とその他の職種との比較、そして、長期投資としての株式と代表的な不動産との比較を行い、長期投資及び短期投資の実践へ入っていく。

# 前提論①

---

高額所得者であっても、さらに上を目指す場合は、いずれ長期投資に進む必要があることは既にこれまでの動画で述べた。

結局、資産がいくらであろうと、富裕層であろうと、超富裕層であろうと、そうではなかろうと、各自の価値観の問題である。どこで満足とするのか、それはその人が決めること。富裕層でなくとも良い場合には、それで何ら問題はない。問題は、上を目指す者にとっては、長期投資は、いずれは避けては通れないという事実がある。なぜなら、高額所得の足し算では、人の短い人生の中で、一生をかけても全く到達できない水準の成功が、さらに上にあるからである。

しかしながら、長期投資をするのであれば、適格投資家としての要件をまず満たすのが基本ではあるのかもしれない。

米国の証券取引委員会が定めた適格投資家の要件は、100万ドルの資産があるか、年収20万ドル(または夫婦で30万ドル)である。つまり、現在レート(2017年1月31日)で1億1386万円の投資可能資産(つまり現金)を持っているか、あるいは、年収が個人で2276万円以上でなければ、不適格であるということ。この水準は、一つの参考にはなる。

## 前提論②

---

なぜSECがそれだけの基準を求めているかというと、投資家保護のためである。大きなお金を何かに投じて損してしまっても、その後、リカバリーして生活していけるだけの新規収入や元手の一部を棄損しても安全に生活していけるだけの資産を求めているからだと言える。また、実際上の問題として、いくら長期投資が複利の力で大きく増加していく可能性があると言っても、明らかに少なすぎる元手では、大きな結果に至るまでに膨大な時間がかかるという問題もある。よって、長期投資をする場合は、それなりにまとまった元手が必要である。20%複利で10年において6.19倍という数字を一つ覚えておくと良い。

ただし、長期投資のための元手を長期投資で作ることは不可能ではない。時間がかかるというだけで、長期投資のための小さな長期投資があっても良いし、それはそれで素晴らしいことだと思う。なぜなら、そのプロセスで成長するからだ。

以上を総合してまとめると、高所得者であっても、そうでなくとも、いずれ長期投資をする必要性があるが、その長期投資を始める前の段階をまず論じなければならないし、やはり元手が多いということが優位であることに変わりはないので、その元手を作るためには、どうしなければならないのかを次に論じる。つまり、上場企業オーナーや事業売却者のようにすでに大金を得た人の議論は除外する。

# 短期投資とその他の職種との比較

---

通常、長期投資の元手は、税引き後の所得ないしは短期投資で大きくしたお金を用いるものである。それが長期投資の財源となる。もちろん借り入れる(デッドファイナンス)、出資を受ける(エクイティファイナンス)などの資金調達をして、長期投資を始める可能性もなくはないが、普通は投資のためのお金を直接調達することは与信上困難であり、かつ、借金して投資を始めて上手くいくのか、というと心理的な部分を含めて、大きな疑問が残る。やはり、あくまで自分のお金として、税引き後所得の蓄積や短期投資で大きくしたお金を使って長期投資を開始していくのが現実的である。

そこで、

短期投資のメリットとデメリット

その他の職種の概要

について概観したいと思う。

# 短期投資のメリット、デメリット

---

## メリット

- 完全個人で完結する。
- 初期費用としてはパソコン購入のみで完結している。
- 規模が大きくなっても追加設備投資や人材増員、オフィス増床などが不要。
- 取り扱い金額が大きくなってもキーボードへの入力回数が幾分増えるだけ。
- ゆえに、技術がありお金を増やせるようになった場合、コストや負担が増えずに、売上だけが増加していくため利益としてのリターンは、その他職種とは比にならないほど大きくなる。

## デメリット

- ビジネスに比べ初期費用は低いと言えど、元本の拠出は伴う。時にビジネスを行うよりも元本は大きいこともある。
- その元本自体が0になってしまうリスクがある。
- 苦勞すれば増えるという話ではないため、労働時間に賃金が比例するという世界ではなく、時間をかけたのにマイナスになる、ということもある。

なお、どちらが安定しているか、という議論はしない。なぜなら、固定費やマーケット環境の変化、経営者としての自分の意思決定のミスなどがある以上ビジネスなら安定だとも言えず、一方、ロスカット制御次第では投資だから危険だとも言えないからである。ビジネスも短期投資もそれぞれリスクはある。

# その他の職種の概要①

---

その他という分類である以上個別的な話にはできないため、メリット、デメリットを論じることはできないが、ここでは短期投資以外の職種ということで、一般論についてお話する。

高額所得者になった事例は過去多数あるため、自分にあったビジネスや職を見つけることができた上でそれを模倣するか、あるいは、オリジナルの形で成立させられた場合、確かに成功の可能性はある。上場企業を作るもよし、芸能活動するもよし、儲かる中小企業を作るもよし、プログラマーになってソフトやアプリを作るもよしだ。

ただし、一般的に言って、誰もが思いつくことは、競争が激しく、平均以上の所得とはならないことばかりでありそれが厳しい現実。何をやっても普通では異常的な所得になることはまずない。

私は、皆さんがそれぞれ決めた道で高額所得を得るほどの成功を収める道を選ぶ時、お役に立てない。私には今投資を教えること以外の準備がないからだ。だから、別の道の場合は、各個人が突き詰めて欲しい。

## その他の職種の概要②

なお、私に対してたまにこういう意見が届く。与沢さんはオンラインスクールなどができてそれが収入となっていてずるいね、というような意見だ。ただ、私から言わせれば、かなり勘違いしている。

というのは、私の場合、自己資金を全額投じて立ち上げた会社において1度は法的自己破産、2度目は派手なテレビ映えする絵作りにお金をかけ、テレビに大量に出た上、さらに膨大な広告費を使い、かたや、普通の人が払えないほど税金を納めて、初めて世の中から多少知られるようになった。最後は、失敗を公表し、今度は社会から蔑まれ、それでこそ名を多少知られたという経緯がある。また、動画で上手く話せるようになるまでには、これまで2000本以上の動画を撮り、3000回以上は文を書いて、大量の自学自習をしてきた。10年以上の時間と50億以上のお金とたくさんの労力をかけ、初めて広告などで宣伝しなくても、誰かの役に立てるようになり、スクールがあり、また価値もなく売れるわけでもないのである。

そのため、私が楽しんでいると思うような人に言いたいのは、同じことをする勇気やできる気力やその根拠、自信、バックボーンがあるなら、好きに同じことをやればよいじゃないかと思う。ただし、やってみればわかると思うが、結局、そんな簡単ではない。まず通用しない。私と同じことをやれば、途中で精神がおかしくなって、死ぬ人も出るだろう。

だから、何をやるにもその他の職種の中でトップになるのは、針の穴を通すほど大変なのだ。そして、トップにならなければ高額所得にはならない、各業界で1人か2人の世界。だから、そういう背後の前提理解だけは履き違えない方がよい。



# 長期対象の株式と不動産の比較

---

株式のメリットは第2話で伝えた通り。これからその詳細はさらに深掘していく。

まずは、株と長期投資代表選手であり私も多額を投じている不動産との比較として、不動産のメリット、デメリットを述べておく。

不動産のメリット

- ダークサイドが限定的

不動産のデメリット

- トータルリターンも限定的

ゆえに、長期投資対象としては、ミドルリスクミドルリターンというのが私の考え方

一方株は、買い値を大幅に下回って一生戻ってこないこともあるなど、不動産よりもリスクが高い。さらに、倒産すれば0ないし0に近くなる。一方、上がる場合は、不動産とは比較にならないほど上がることもある。つまり、ハイリスクハイリターン。だから、大切なのは、銘柄選びと時期選択。

不動産も物件選びが重要だが、銘柄選びは死ぬほど重要だということ。

# ここから実際の画面を映して実践する

---

いつも短期トレードから入るので、今回は、皆さんが飽きないよう、まず長期投資の実践を行う。ここから先は、動画内で確認してほしい。具体的には、私がドバイ金融総合市場の銘柄の中から長期投資対象を一つ抽出し、分析し、現実に購入するところまでお見せするので、そのプロセスを見て、長期投資とは何か？そのイメージをつけて欲しい。

そして、次回は、お待ちかね短期トレードの本質を実際にトレードしながら、お伝えする。